

告 辞

陽の光に春の訪れを感じます本日、ここに関係各位のご臨席のもと、令和6年度 佛教大学 第57回大学院学位記、第73回卒業証書、第47回別科（仏教専修）修了証書授与式を挙げてまいりますことを大変嬉しく思います。卒業生、修了生の皆さん、この度は誠にありがとうございます。皆さんの卒業、修了を、佛教大学教職員を代表して心からお祝い申し上げます。皆さんが今日という日を迎えることができたのは、お一人お一人のご努力の成果であることはもちろんですが、それに加えて、皆さんを温かく見守ってこられたご家族をはじめ、取り巻く周囲の方々のご理解とご支援があったからに他なりません。ご家族や保護者の方、そしてご関係の皆さまには、今日までのご支援に対し、敬意と感謝を表し、心よりお喜びを申し上げます。

皆さんが入学された令和3年は新型コロナウイルス感染症真っ只中でした。せっかくの入学式も一堂に会して開催できず、人生の節目に主役として、これから始まる大学生活に、晴れがましい思いを持ち、ワクワクしながらここに立つべき時に、それが叶えられなかったことは非常に残念でした。しかし、起きた現実の出来事に対して、さまざまに向き合った経験は、いわば、やろうとしてもできない経験であり、対処するために行なった活動や考え方は、確実に皆さんを成長させたはずで、人生に無駄なものはありません。望まない経験だったかも知れませんが、この経験は必ず自身の将来に役立つことがあると信じていただきたいと思います。

ところで、その入学式の告辞で、私が何を申したか覚えていただいているでしょうか。私は皆さんに、学生時代にぜひ、想像力を身につけてほしいと申し上げました。想像力こそ、人間が人間であるための「智慧」の力の一つであること、昨日を想像し千年の過去を想像する力、明日を想像し遙か未来を想像する力、家の周りを想像し宇宙の果てを想像する力、時間のあと先、空間のあらゆる場所を想像する力を持っていること。そしてその力をもって仮説をたて、それを実証して学問の発展に寄与してほしい、と申しました。私たちはさまざまなことを想像することで、将来に対して不安や心配を抱きます。それは老いを感じたときであったり、病気やけがをしたときであったり、誰かの死やペットの死などで不安や心配が惹起します。しかし、同時に私たちはその想像力で、夢を描き希望を持つことができます。皆さんの前には輝かしい未来と、夢と希望にあふれる可能性が広がっています。なりたい自分を想像し、将来の姿を想像して、そこに向かって明日からしっかり歩み出しましょう。また想像力を駆使することは、目の前の人の気持ちを考えたり、多様性を尊重することにつながり、性別や人種を越え、障害を持った方の環境や生き方を慮ることとなり、決して自分本位な考えを持つことなく生きていくことにつながると考えます。

佛教大学での学びを終え、さまざまな経験をした皆さんには、一人ひとりの学びと経験が仏教精神そのものであるとご理解いただき、誇りをもって本学から巣立っていただきたいと思っております。

社会に目を向ければ、大雨や大雪、交通障害などのさまざまな被害がありますし、異常気象の連続で、温暖な四季のある日本という、かつてのイメージとは異なる気候の変化が、私たちの日常に大きな影響を与えるようになりました。また国際的な争いも多発し、不安定で危うい状態が世界各地で現に今、続いています。これらはいつでも、誰にでも起こることであり、いつ自分の身に降りかかるかわかりません。だからこそ常に、悩み苦しむ人々の存在に気づき、思いを寄せることが重要

であると考えます。いまだ復興半ばの能登や、熊本や東北の震災に思いを致し、被災者に思いを馳せ、自分に何ができるのかを考え続けていきたいと思えます。

将来に関して不透明・不安定なことを見聞きすると暗い気持ちになることもあるかもしれません。しかし皆さんには佛教大学の学びで得た多くの知見、専門に関わる優れた技能、免許や資格、そして想像力があります。今の自分の力に自信を持ち、佛教大学を卒業、修了したことに誇りを持って、目の前の道を一步一步着実に歩んでください。皆さんの着実な歩みは、未来へと確実につながっています。お一人お一人が未来の種であり、その種が縁によって育まれ、そして実を結ぶことによって、明るい未来が切り開かれていくことに繋がります。小さな種が、やがては未来に大きな光を放つことを信じて、どうか誠実に、夢と希望をもって歩み続けてください。

本日で一旦、皆さんの学びは終了しますが、時代の変化はとても速く、私たちを取り巻く社会は、想像をはるかに超えた早さで変わっていきます。そういった予測不能の時代にあっては、新たな学びが必要とされる時が必ずやってきます。また生涯にわたって学び続けることが求められる社会でもあります。そのような社会において力を発揮するためには、学び続けること、学び直すこと、そして考える力にさらに磨きをかけることなどが必要となってくるでしょう。もしも更なる学びが必要なきときにはぜひ、佛教大学に帰ってきてください。本学には大学院、通信教育課程、オープンラーニングセンターなどがあり、人生の様々なニーズに相応しい多様な学びの場が用意されています。そして、これからの長い人生で、悩んだり迷ったりしたときは、焦らずに立ち止まり、振り返って考えてみることも必要でしょう。そのような時にはぜひ皆さんの学びの原点である佛教大学を思い返してください。私たちは、いつも皆さんを見守っています。そして、教職員一同、皆さんの再訪をいつでもお待ちしております。

卒業、修了される皆さん全員が、明るい未来に希望を託し自信と誇りを持ってご活躍されることをお祈りし、告辞といたします。

令和7年3月18日

佛教大学長 伊藤 真宏